



栃木県の経済情勢報告

令和7年1月30日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	6年度は増加見込みとなっている	6年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	6年度は減益見込みとなっている	6年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↓
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	↓

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は前年を下回っている。また、宿泊や飲食サービスについては緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 気温の低下が例年よりも遅かったため、秋物衣料の売上が悪かったが11月下旬から復調傾向となっている。(百貨店・スーパー)
- 米不足により米価が上がった影響で小麦が原料となる麺や冷凍食品の売上が伸びた。(百貨店・スーパー)
- 求めやすい価格とした商品の拡大に加え、コラボ商品の開発、消費者の来店誘因につながる商品の販促を実施した結果、客数が伸長し売上が微増した。(コンビニエンスストア)
- リップクリームやハンドクリームなど保湿ケアグッズのほか、11月中旬以降冷え込みが厳しくなったため、風邪薬や咳止めなど秋冬シーズンの商品が急激に売れ始めている。(ドラッグストア)
- 新築住宅の購入者やマンションへの入居者等が家電製品をまとめて購入するケースが増えており、宇都宮駅東側の開発された地域や郊外を中心にその傾向がみられる。(家電量販店)
- メーカーからの供給が少ないため、一部車種で受注を制限していることもあり、売上高は計画値を下回っている。(自動車販売)
- メディアに取り上げられることが増えて知名度が上昇したことや、販売価格を上げてでも客離れはみられずに順調に推移しており、売上高、来店客数、客単価がいずれも前年を上回っている。(飲食サービス)
- 好天に恵まれたことや例年よりも気温が高かったことで旅行需要が喚起されたほか、レジャーには積極的に支出するという傾向がみられたことから売上高の増加につながった。(宿泊)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、輸送機械、生産用機械等が上昇している一方、化学等が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- 10月までは海外向けを中心に昨年を上回る生産台数となっていたが、足下では中国市場で販売拡大が困難なこと、欧米でHV車の需要が加熱していることなどから、EV車の需要が低下したことで減産。(輸送機械)
- 米価上昇のため農家が収入増となり機械購入意欲が増加したことで、生産量が増加。(生産用機械)
- 不採算品目の製造中止の検討等、戦略的な品目整理を実施。(化学)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 整備士の人手不足感が強い。整備士の離職や引き抜きを防ぐために、タイヤを持ち上げるリフトの導入や空調設備の整備等、労働環境の改善に取り組んでいる。(小売業)
- 生産量の減少に伴い人手は過剰気味。過剰となった人員については、技術開発や技術説明のため営業への同行に従事してもらっている。(製造業)
- 転職サイト複数チャンネルを通じて募集をしているが、応募はあまり多くない。(製造業)

■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10~12月期

- 6年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比40.3%の増加見込み、非製造業では同23.3%の増加見込みとなっており、全産業では同35.6%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「6年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年10~12月期

- 6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比7.4%の減益見込み、非製造業では同14.1%の増益見込みとなっており、全体では同3.2%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10~12月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、7年1~3月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は前年を上回っているが、分譲住宅は前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、県は前年を上回り、国及び市町は前年を下回っている。全体としては前年を下回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数は前年並みであるが、負債総額は前年を下回っている」



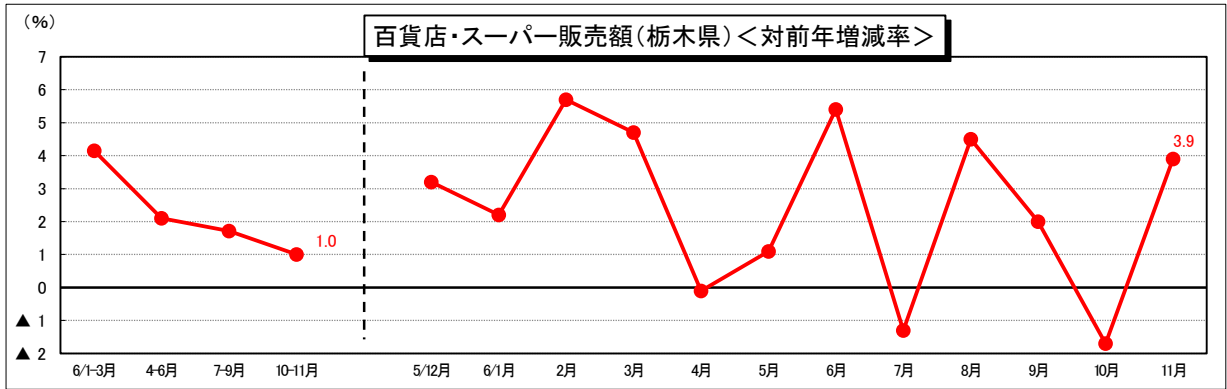
栃木県の経済情勢報告

資料編

1. 個人消費

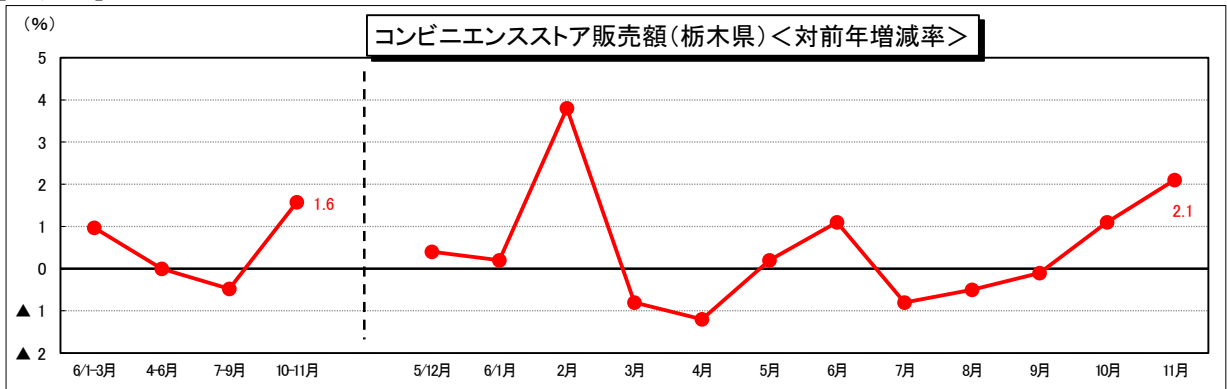
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



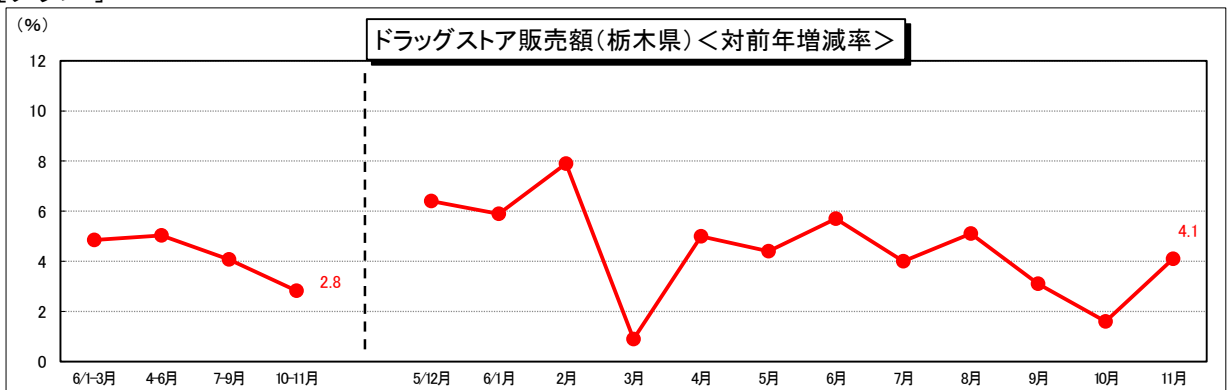
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



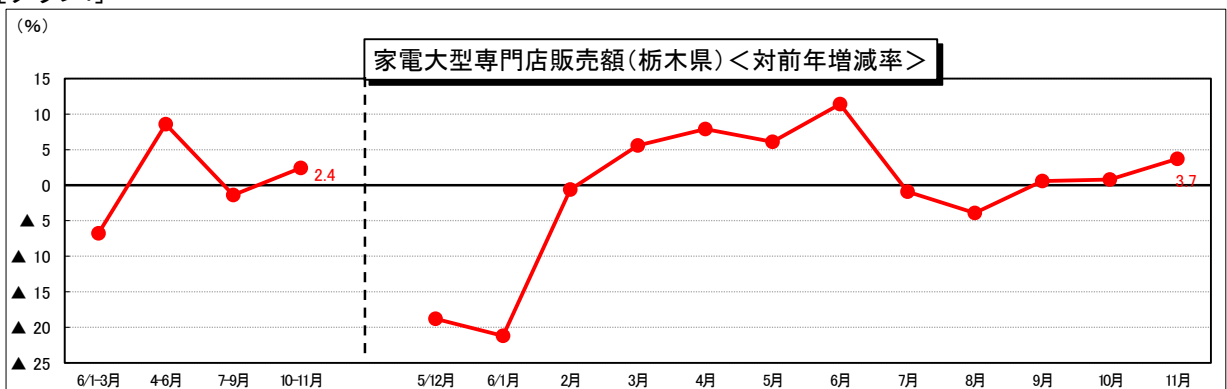
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



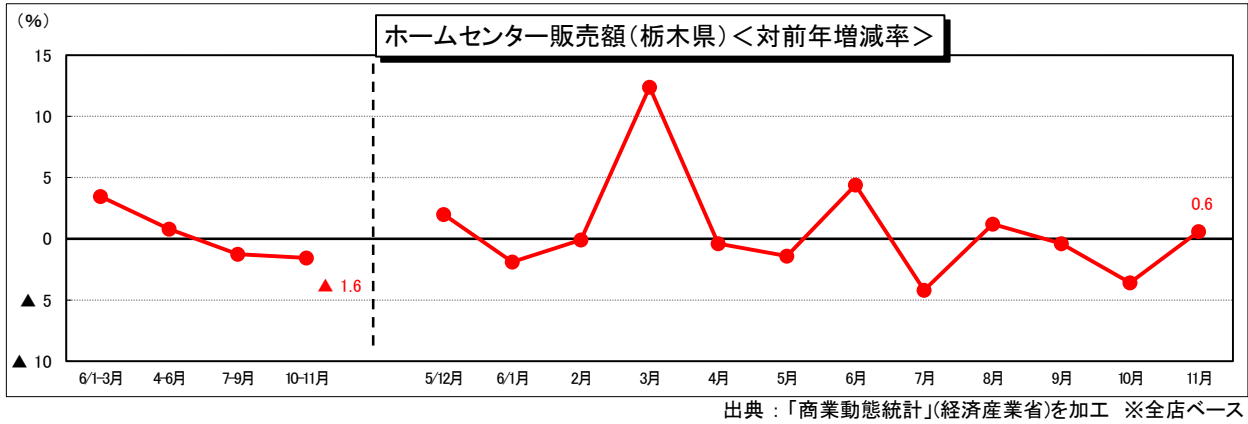
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

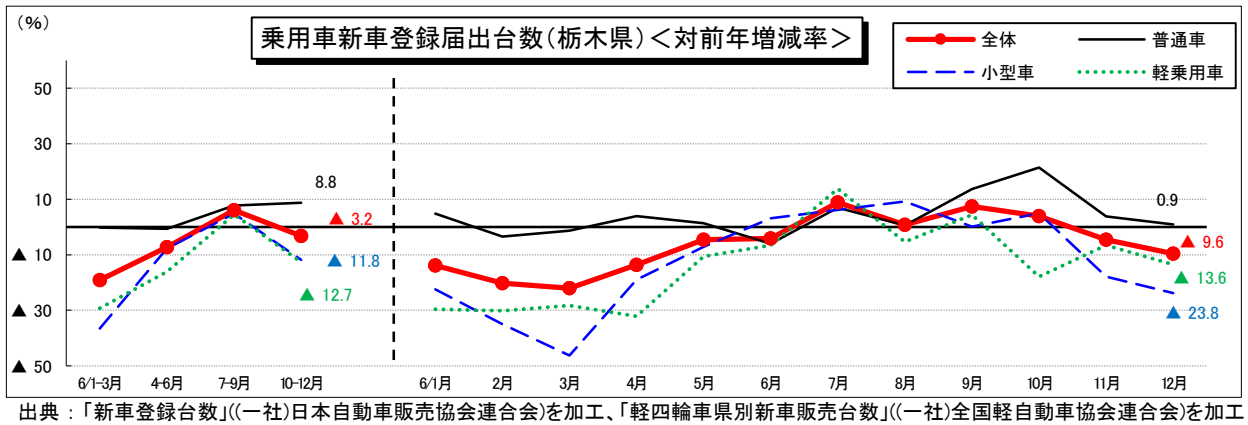


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



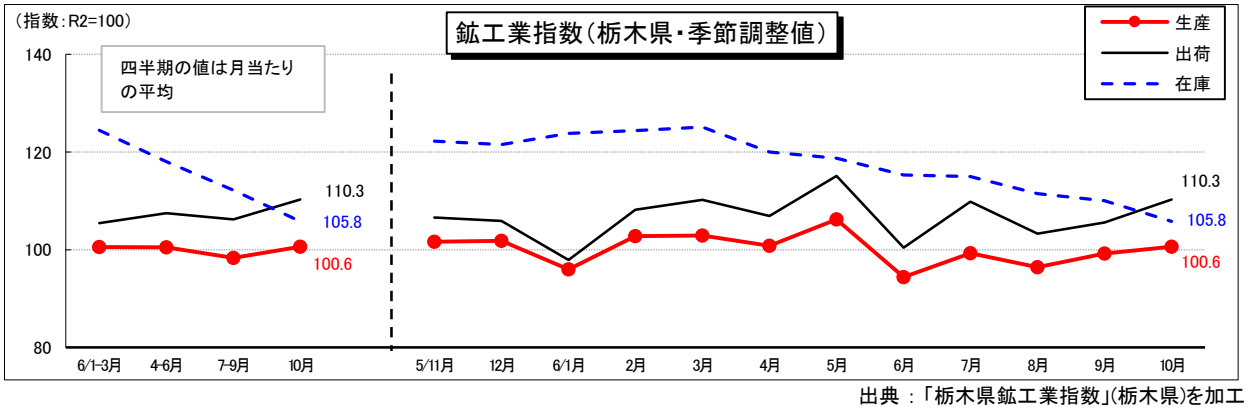
[グラフ6]



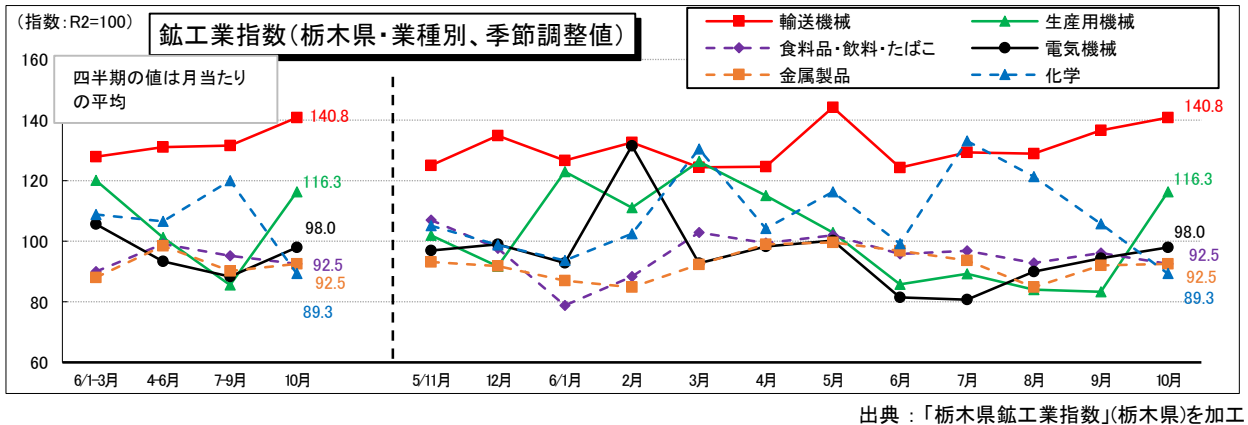
2. 生産活動

横ばいの状況にある

[グラフ7]



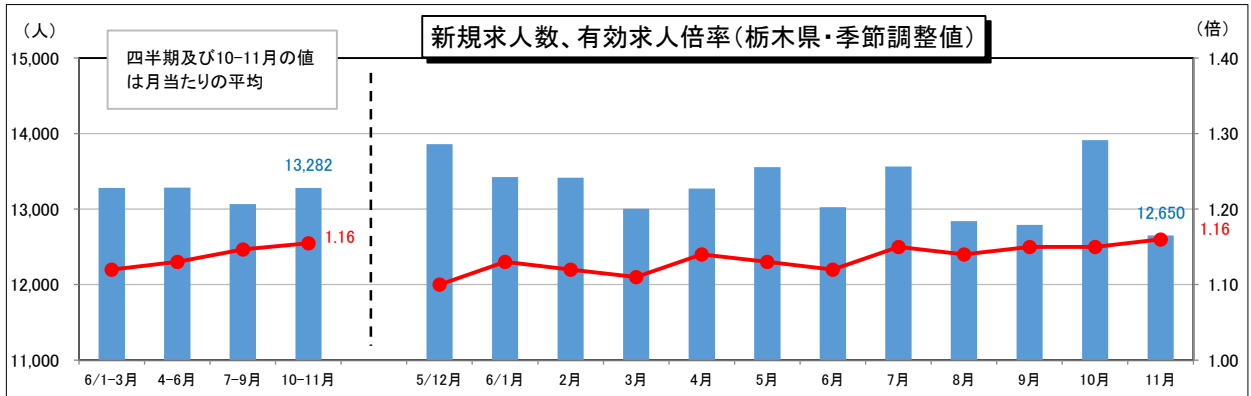
[グラフ8]



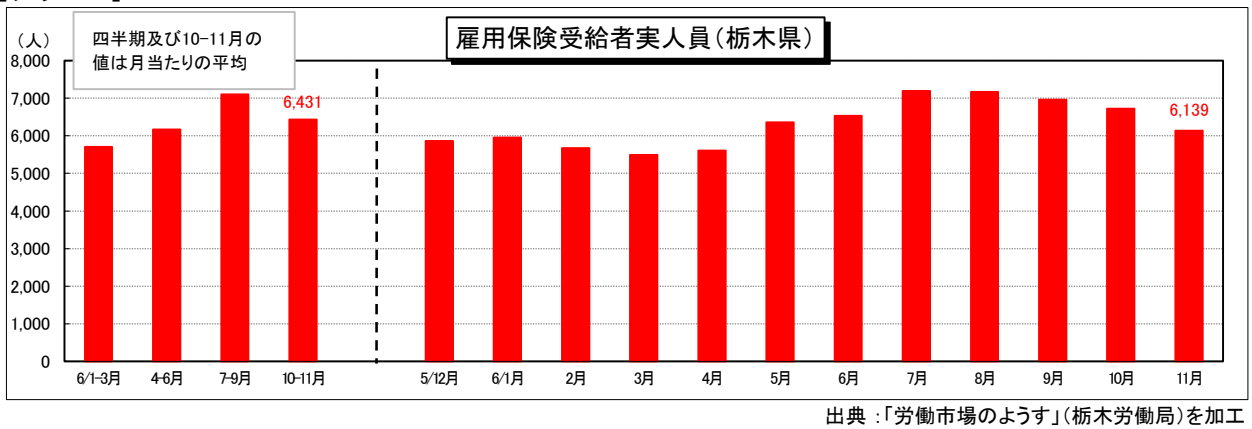
3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している

[グラフ9]



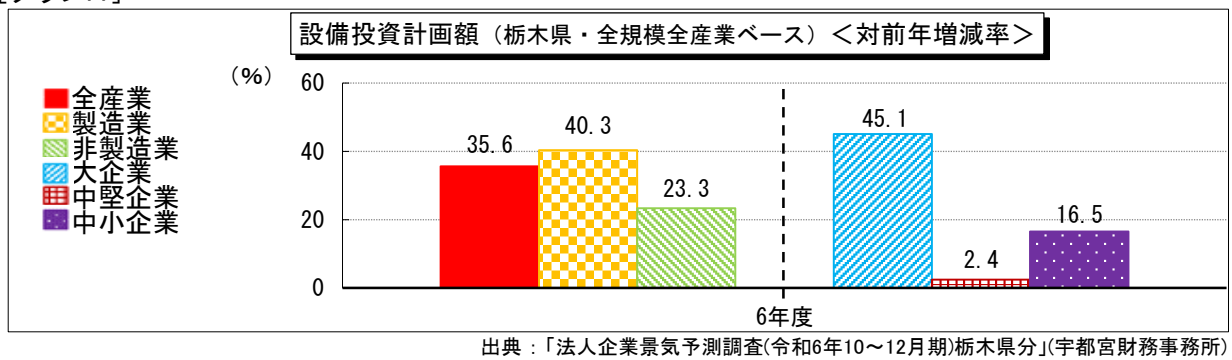
[グラフ10]



4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

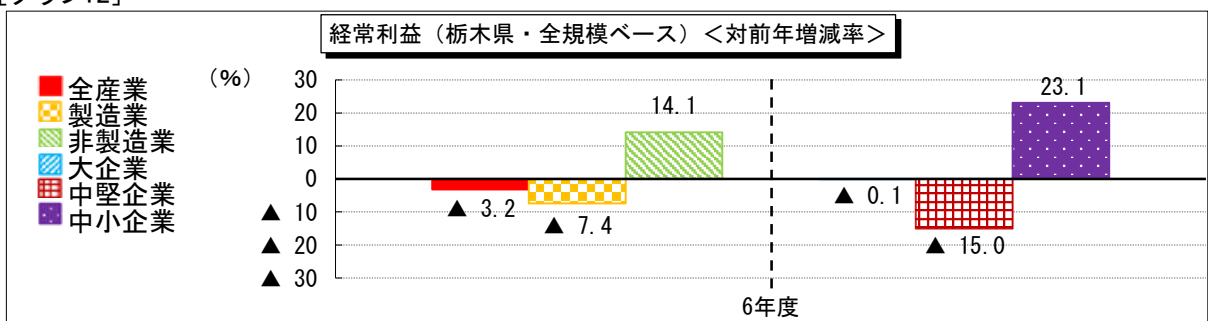
[グラフ11]



5. 企業収益

6年度は減益見込みとなっている

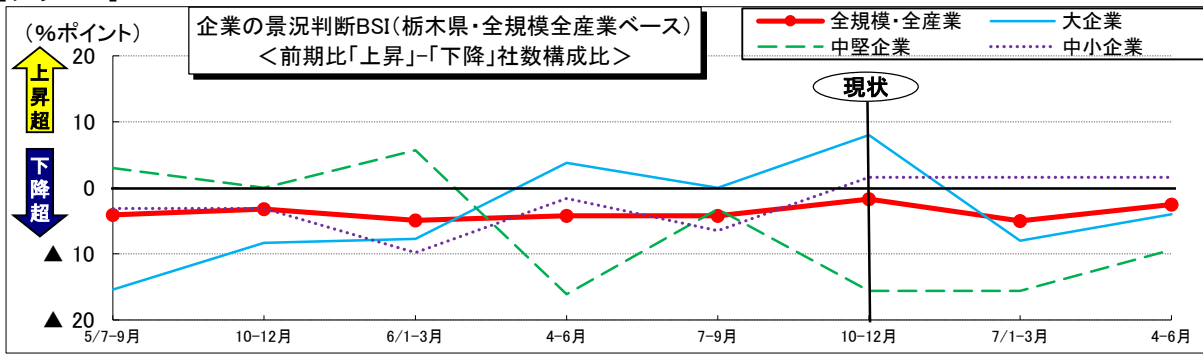
[グラフ12]



6. 企業の景況感

「下降」超となっている

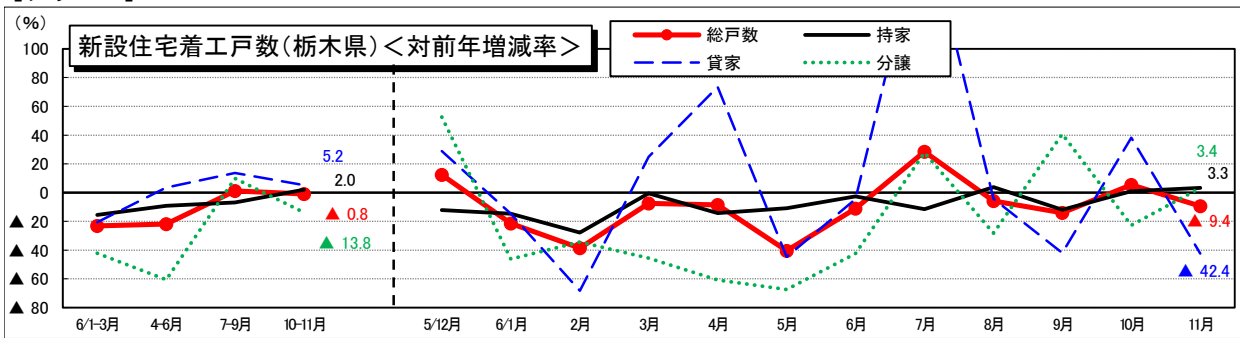
[グラフ13]



7. 住宅建設

前年を下回っている

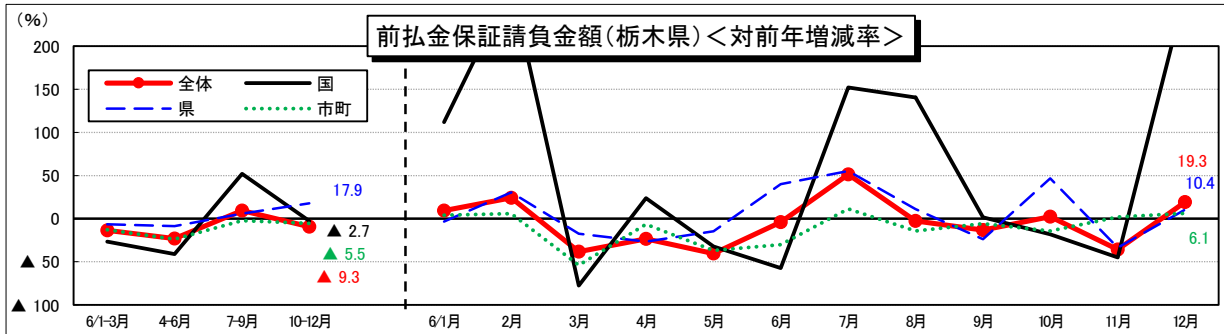
[グラフ14]



8. 公共事業

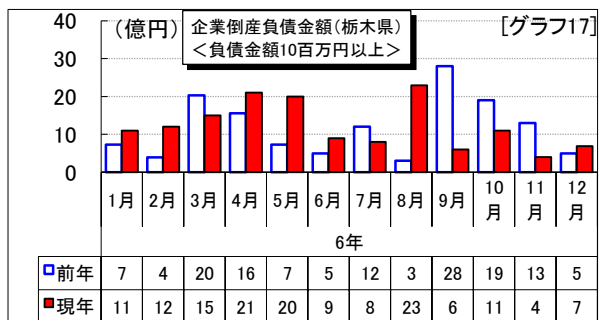
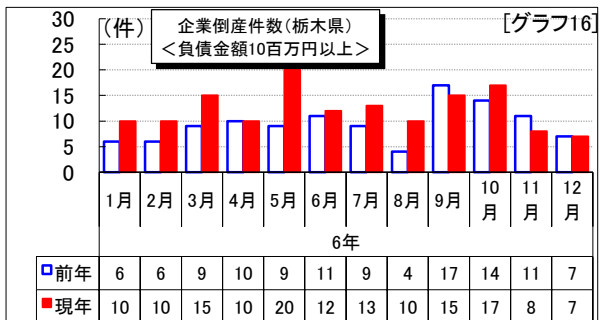
前年を下回っている

[グラフ15]



9. 企業倒産

倒産件数は前年並みであるが、負債総額は前年を下回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工